



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和4年1月11日
校長
No. 15 太田 千春

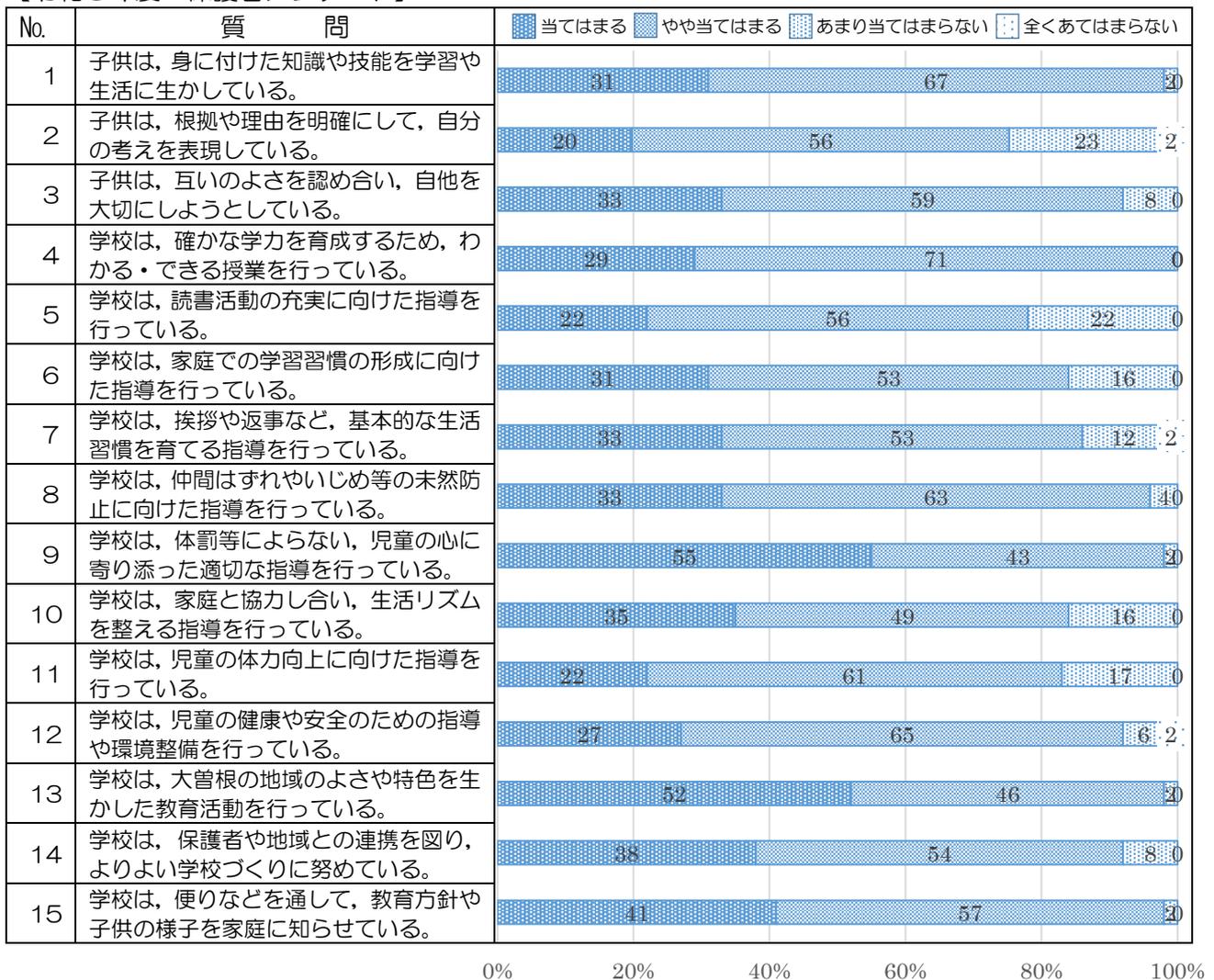
御協力ありがとうございました ~学校評価アンケート~

本校では、学校教育目標「大曾根に誇りをもち、未来を拓く子どもの育成」のもと、次の3つの資質・能力の育成を今年度の重点とし、学校全体で日々教育活動にあたっております。この度、地域・保護者・全校児童からのアンケートを実施し、目標の達成状況や取組みの適切さ等について評価し、今後の改善策等について検討致しました。その結果がまとまりましたのでお知らせします。今後とも本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、宜しく願いいたします。

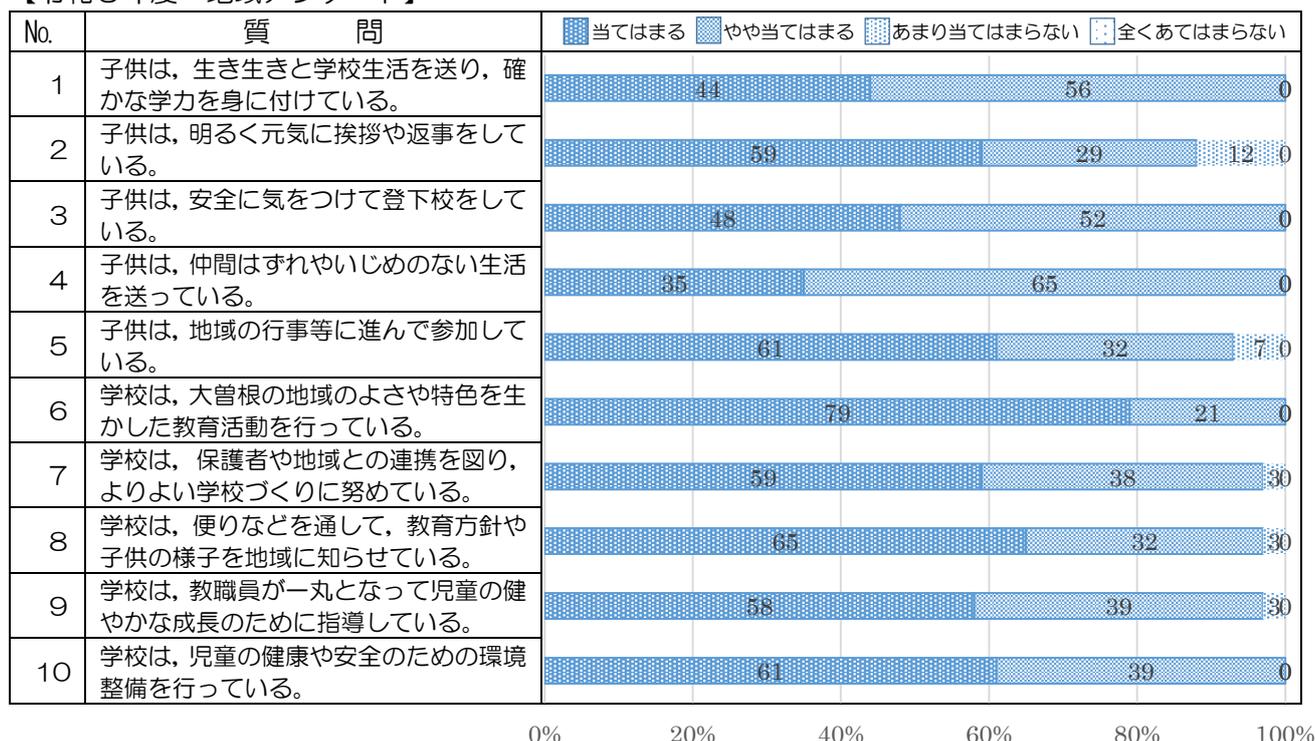
【学校として育成を目指す資質・能力】

- 身に付けた知識や技能を学習や生活に活用することができる。(知識及び技能)
- 根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 互いのよさを認め合い、自他を大切にしようとする。(学びに向かう力・人間性等)

【令和3年度 保護者アンケート】



【令和3年度 地域アンケート】



【アンケート結果から学ばせていただいたこと、これから取り組んでいくこと】（一部抜粋）

- ・確かな学力の育成について、地域・保護者ともに高い評価をいただいている。引き続き、教育課程の評価・改善に努めるとともに、わかる・できる授業の実践を追求していく。
- ・「根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる」ことについて、まだ、問い返しが必要な段階にあり、資質・能力として十分に身に付いているとは言えない。全ての教育活動をとおして、自ら判断の理由や根拠を表現できるよう指導していく。
- ・仲間はずれやいじめ等の未然防止に向けた指導について、地域・保護者ともに高い評価をいただいている。今年度の経営の重点とした「いのちの教育」の成果と捉えたい。児童アンケートでも「仲間はずれやいじめをしないようにしていますか。」の質問項目に対して、100%の児童が肯定的に回答しており、児童会スローガン「みんなが仲良くすごせる学校にしよう」の実現に向けて、子供自身が自主的にいじめと向き合い、その未然防止に取り組んでくれていることを心強く感じている。
- ・挨拶について、更なる改善を求める声をいただいている。一方で、児童アンケートによると『おはよう』『こんにちは』『さようなら』などのあいさつをしていますか。』の質問項目に対して、84%の児童がA「よくあてはまる」と回答しており、全質問項目の中で肯定的な回答の割合が2番目に高い。児童会活動として取り組んだ「あいさつ運動」の成果を実感しているものと考えられる。気持ちのよいあいさつを地域にも広げられるよう、児童の心に寄り添った指導に努め、心をつなぐ挨拶の実践を目指していく。
- ・読書指導について、充実していると肯定的な回答が78%にとどまっている。新刊本への計画的な入れ換えや環境整備、朝読書や授業でのおすすめ本の紹介等の取組を行いながら本を手取る機会を増やすとともに、家庭における読書習慣の形成に向けた指導を行っていく。
- ・大曾根の地域のおよさや特色を生かした教育活動の展開について、地域・保護者ともに高い評価をいただいている。今年度から「地域学校協働活動」として大曾根太鼓クラブや地域民話クラブが始まり、地域の方々から御指導をいただきながら地域の伝統文化・芸能等の学びの場をつくり、その伝承に携わることができた。次年度も継続し、軌道に乗せていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、授業参観の機会を設けることができなかった。次年度は、感染状況を見極めつつ、実施可能な時期・方法を検討し、実施に努めたい。

本校では、今年度から学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールとして運営されています。今年度の学校評価の結果は、2月9日(水)に開催予定の第3回学校運営協議会に提示し、委員の皆様からもご意見をいただきながら次年度の学校経営基本方針等に反映させていくこととしています。